

先月の投稿、『近頃雑感』（大槻伸次さん）の「同感記」です。

1. 子供たちのマナー違反は、親の躰けが先決かも

近くの中学校の生徒と思われる3人連れが、缶ジュースを田んぼに放り投げて行ったので、放っておけないと学校に電話して指導の依頼をした。些細なことではあるが、本件が老いばれ老人の取り越し苦労であってくれればと願っている。・・・同感です。

たしかに近頃子供たちのマナーが悪いのをよく目にする。以前菱の実会だよりのコラム欄にも掲載させてもらったが、こんなことがあった。

地域の自治会有志で毎日子供たちの下校時に通学路で交通安全指導を行っているが、子供たちのマナーが極めて悪い。注意をすると「うるせー」「おじさんにそんなこといわれるすじあいじゃねえ」。ふざけて道路へ飛び出し、あわや事故ということも再三。強く注意したら、その子が泣いて帰り、親から自治会長宅に「なんで叱るのか」と文句の電話があった。耳を疑ったが、「今ちょっときつく指導するとすぐ親が出てくる」と知人の先生がこぼしていた。「この親にしてこの子あり」。この言葉は、元々は優れた親には立派な子供が生まれるという親子共々の褒め言葉だが、最近では逆に使われることが多いようだ。子供たちのマナー違反は、親の躰けが先決かも知れない。

中には「ただいま！有難うございます」と笑顔で声をかけてくる、可愛い子もいるのだが。

2. 挨拶は社会のルールだが、いろいろな人がいる

挨拶は何の道具も何の準備もいらない。ただ笑顔で言葉を発するだけで、人間関係を円滑にし、新しい人との絆をつくり、相手を良い気分させる。・・・同感です。

しかし、世の中にはこんなこともある。

あるマンションの管理組合の総会で、小学生の親から『知らない人に挨拶されたら逃げるように教えているので、マンション内では挨拶をしないように決めて下さい』との提案がなされた。この提案に対して、年配の住民も、挨拶をしても相手から返事がなかったため「気分が悪かった」として賛同し、最終的に「挨拶禁止」のルールが明文化されることになったという。このことについて、ネット上で賛否両論、波紋が広がっている。「理解に苦しむ」という声が多い一方で、挨拶禁止を提案した住人の心情に共感するコメントも見られる。挨拶するのは当たり前前の文化だと思うが、世の中にはいろいろな人がいるものだ。私も現在マンションに住んでいるが、幸い「挨拶」は日常ごく自然に行われている。

3. 後期高齢者の仲間入り・・・死ぬまで頭だけは働かせよう

「後期高齢者医療制度」は、体(てい)のいい老人の切り捨て制度でなければよいかと危惧している。年金の手取りも年々減っており、これからは死ぬまで働き続けなければならない時代になるのではないかと不安な気持ちにさせられる今日この頃である。・・・同感です。

そもそも「後期高齢者」というネーミングが良くない。お先真っ暗なネーミングといえる。「終期高齢者」とされなかったのがせめてもの救いか。制度の中身（保険料額、自己負担割合等）の不満や要望もいろいろあるが、まずはネーミングだけでも変えて欲しい。

例えば「シニア・プレミアム制度」というようなネーミング。そして保険証も、今の薄っぺらなものでなくクレジットカード形式にしていろいろな機能を持たせる。保険証にお店の割引・ポイント特典や交通機関のパスの機能を設けたりして、シニアの消費や外出、運動促進につなげる。こうすれば、健康寿命も延び医療費も自然と減っていくだろう。このような「前向きな施策」をして欲しいもの。今の制度は、高騰する高齢者医療費を保険料でより多く徴収して改善しようとする「後向きな施策」といえる。

余談ですが、今自分の中に「好機高齢社」という架空の会社を立ち上げ、その代表としていろいろなアンチエイジング活動に励んでいる。保険料や医療費の自己負担額が増え、少しずつ「年金」の手取額も減っている現状から、もう国の行政に頼ってばかりいられない。幸い「時間」だけはたっぷりある。「年金」という安定的収入もある。まさに「好機到来」。呆けないよう、死ぬまで頭だけは働かせようと思う。

4. そろそろ終活・・・元気なうちに身辺整理をしてすっきりと余生を楽しもう

墓を買って石塔を立て、いつかはここに入らなければならないが、身辺整理（遺言状作成・諸々の解約手続先等の纏め・庭木の整理他）も含めてあの世に行くのも大変だなと改めて感じている今日この頃である・・・同感です。

自身そろそろ「終活」と思いながら「好機高齢社」の活動が忙しく先送りとなっている。この「終活」というネーミングも良くない。分かりやすいがあまりにも直接的。せめて人生を修めるという意味で「修活」にしたらどうだろうか。なぜかネーミングにはこだわる。

自身ネットから得た終活の知識だけは豊富だが、なかなか実行が伴わない。簡単な不用品の処分すらままならない。いずれパソコンの中身の整理も頭が痛い。ただ幸い？遺産相続などのトラブルの心配はなさそうだ。

いずれにしても、元気なうちに身辺整理をしてすっきりと余生を楽しみたいと思う。

以前、菱の実会ホームページに「エンディングノート書き方講座」のコーナーを連載したが、こんど新たに「そろそろ終活・・・！」のコーナーを設けましたので、ご活用下さい。

(2018/10/10)

(大月伸次さんの「近頃雑感」です。皆さんも「雑感」をまとめてみませんか)

<http://www.hishinomi-gunma.sakura.ne.jp/~hishimig/2018-10-ootuki.pdf>